

こすもす

第26号(平成30年3月) 滝川市ボランティア連絡協議会

2017.4~2018.3



～ぼらんていあの輪～

滝川市ボランティア連絡協議会加盟団体 平成30年3月現在

NPO法人 若草友の会共同作業所	滝川地区認知症の人と共に歩む家族の会あけぼの会	滝川消費協同組合	滝川身体障害者福祉協会	滝川更生保護女性会	滝川市朗読赤十字奉仕団	滝川市食生活改善推進協議会	滝川市老人クラブ連合会女性部	滝川点訳友の会	滝川手話の会	滝川駐屯地曹友会	滝川市婦人会	滝川市婦人ボランティアクラブ	中空知レクリエーション協会	滝川市赤十字奉仕団	滝川市民生委員児童委員連合協議会
松平 忠也	須田 敏枝	中口由美子	川口きよ子	中村 京子	平川 孝子	高橋 房恵	窪之内美知代	板木 陽子	真坂由美子	田村 應佳	花田 瑞子	野村 幸子	安居 弘美	前田ひとみ	岸部三和子



「一年を振り返って」

滝川市ボランティア連絡協議会

会長 岸 部 三和子

今年の冬は30数年ぶりの記録的な大雪に見舞われる中、皆様におかれましては、ボランティア活動に深いご理解とご協力をいただき、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も関係諸団体のご協力を得て、ボランティアスクールを開催いたしました。

第1回目は、赤十字健康生活支援講習会「災害時高齢者生活支援講習」で、災害時の避難所生活における毛布等での体の保温方法、リラクゼーション方法を、実技を通してご説明いただきました。

第2回目として、富良野自然塾副塾長 林原博光氏から『地球は子孫から借りているもの』というテーマでご講演いただき、閉鎖されたゴルフ場に植樹をして森に還す『自然返還事業』を運営し、未来の子ども達に引き継ぐようにと活動の場を通して大変貴重なお話を聞くことができました。

第3回目には、日本赤十字北海道看護大学 教授 根本昌宏氏による『避難所運営ゲーム（HUG）北海道版』D.O.は、研修を行いました。市民の避難所生活や避難所運営を自分事としてとらえ、ゲーム感覚で模擬体験することができました。

これらのスクールを通して、皆さんと共に支え合い、助け合う「互助・共助」の気持ちをもって活動が続けてまいりたいと思います。

「ボランティア活動に一歩踏み出し 安心と安全なまちづくりを」

社会福祉法人滝川市社会福祉協議会

会長 椿 坂 幸 夫

地域に根ざした奉仕活動を展開されて25年間の足跡を辿る、滝川市ボランティア連絡協議会に結集する皆様に、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

私たちを取りまく環境は、科学や文化の急激な発展と共に、社会構造や人間の価値観までもが急変を示し、家族関係や地域の絆（助け合い）など、早急に取り組まなければならぬ今日の福祉課題が、痛ましい事件・事故として連日報道されてもいるところでもあります。更に、これら福祉課題解決には、地域住民が日常生活の一環として「誰もができるボランティア活動」を展開されることが絶対必要条件であるともいわれています。

市民の皆様がボランティア活動に一歩踏み出すことによつて、人間関係の輪（絆）が広がり、地域に活力が蘇り「安心と安全なまちづくり」が実現できるのです。

滝川市ボランティア連絡協議会の更なる発展と、市民の皆様の一層のご理解とご協力をご期待申し上げます。

視察研修



滝川身体障害者福祉協会

高野 聖 美

11月2日社協前から参加者15名が3台の車に分かれ、消防本部へ行きました。担当者の方の案内を受ける中、始めに12mもあるボルダリングがありました。今までより広域が芦別市、赤平市と加わり、夜勤の人たちの個室、シャワー室、ロッカー室、通信室、会議室等も広くなり、大・小の消防車、救急車どれを取っても最新式の良いものが揃っていました。

次にグループホーム土筆の郷を施設長さんの説明で案内を受けました。建物は合理的でとてもきれいに出来ています。機能もグループホーム、通所介護、認知症対応、訪問入浴、すべて送迎付で大変便利になっています。

昼食は障害者のお店（ランチカフェすばらうと）で日替わり弁当を頂きました。シニア向きで完食でした。

午後から滝川中央病院に行き、事務課長さんから病院の概要、取り組み等の説明を受け、2班に分かれ見学をしました。軽食、喫茶、売店、広い体育館ありで、一般外来も歯科、内科、物忘れ外来等がありました。

各精神科病棟のディケアルームでは手芸、お絵かき、読書等自由に過ごしていました。

最後に病院前で集合写真を撮り終了です。どの施設も今後お世話になるでしょうけど、いつまでも健康に気をつけ、お世話になりたいくなくとも思いました。楽しい視察研修でした。

ボラ、ニティスクール



第1回「災害時高齢者生活支援講習」



第2回「地球は子孫から借りているもの」



第3回「避難所運営ゲーム（HUG）北海道版」



赤い羽根歌謡大会

滝川市婦人ボランティアクラブ

会長 野村 幸子

恒例となった年末の大きな行事です。1枚でも多くの入場券を売るために会員から出演者を募りましたがゼロ。そこで劇団で活躍していたという田中とね子さんに白羽の矢を立て交渉、即出演とはいきませんでした。何日間かの有るの後やっと、出演の返事を頂きました。

彼女は選曲に悩んだ末、素晴らしい曲を披露し「観客を魅了したで賞」を受賞。私達会員共々大喜びしました。札幌からも彼女の大勢の友人がかけつけ絶賛。「これで冥土の土産」ができた彼女が爆笑。私には「会長の顔を立てた」と言ってくださり大変恐縮しました。出演者の方々と多勢のボランティアに支えられ盛況のうちに終えることが出来ました。ありがとうございました。



第10回

市民ボランティアの集い

「市民ボランティアの集い」

10周年を終えて

実行委員長 安居 弘美

平成20年ボランティア連絡協議会加入団体23団体、約3千人の会員が主催者と連係を計りながら活躍されている情景を見て、更に地域市民と心を一つにして活動が続けて行くことで明るい安心と安全な街づくりが出来ることを信じ、実行委員会組織を創り会員一同が会して、お互いに情報交換を深め交流を強めることが大切と考え発足したのが始まりでした。

平成26年にボランティアスクールと同時開催され、更に集いの中身が充実されました。10周年に相応しく、富良野自然塾 副塾長 林原博光先生をお迎えして、『地球は子孫から借りているもの』のテーマで講演を拝聴し、ボランティアの役割を強く実感出来ました。今や地球上の異常の変化がみられています。いつ来るかわからない災害に備えて常に予測を持ちお互いに信頼感を大切に、声掛けをして行きましょう。



ボランティア活動紹介

～滝川駐屯地曹友会～

1月21日、そろぷちキッズキャンプへの支援として滑り台作成が行われました。修親会さんと共同で行われ、総勢約70名での作業でした。雪の中でのボランティア活動、大変お疲れ様でした。



in 札幌市加路

平成29年度 事業報告

2・28	12・3	11・18	11・2	10・21	9・29 30	8・5	7・21	7・7 8	4・25
平成29年度第3回ボランティアスクールを開催	第30回滝川市歳末たすけあい赤い羽根歌謡大会に出演・支援	平成29年度第2回ボランティアスクールを開催・第10回市民ボランティアの集いに支援・協力	平成29年度ボランティア視察研修を実施	第30回滝川市社会福祉大会に出席	ふれあいの集い2017に協力	第20回ふれあいパークゴルフ大会に協力	平成29年度第1回ボランティアスクール「赤十字健康生活支援講習会 災害時高齢者生活支援講習」を開催	第17回ふれあいサマーキャンプに協力	平成29年度滝川市ボランティア連絡協議会総会を開催

記念公演・式典を終えて

滝川市民生委員 児童委員連合協議会

「民生委員制度 創設100周年を迎えて」

滝川市民生委員児童委員連合協議会

会長 南 博雅

民生委員制度は、大正6年に岡山県で誕生した済世顧問制度に始まり、方面委員制度を経て創設以来100周年という記念すべき年を迎えました。また、児童委員制度も昭和22年に創設以来70周年の節目を迎えました。この間、民生委員児童委員はその時代、時代における地域福祉の担い手として、困りごとを抱えながら地域で暮らす人たちを支援するとともに、子どもたちの健全やかな成長に力を尽くしてきました。

この度、民生委員制度創設100周年記念式典を開催し、100年間の歴史と伝統をかみしめ、住民に最も身近な相談役として地域の人々との信頼関係の中で築き上げてきた多くの実績を踏まえ、次の100年に向けてのスタートをきりました。



滝川市婦人会 人形劇部

「人権啓発指人形劇 100回公演を終えて」

滝川市婦人会人形劇部

部長 工藤 淑江

いじめ根絶と叫ばれながらも痛ましい事件が起きている現状に、なんとも云われぬ悲しみに心が痛みます。

私達は、人権意識の大切さを幼児期からの教育が基本であることとし、人形劇を通して人権意識啓発運動を18年間に亘り活動が続けてまいりました。昨年11月14日芦別みどり幼稚園の公演を以て記念すべき100回目を無事終えることが出来ました。

部員それぞれ高齢化による色々な不都合をのりこえ、皆一致団結し続けてこられた事に皆さんの感慨も一入と思えます。12月21日細やかなからお祝の会を催し、お互い思い出を語り、犒い合ったところでございます。関係者の皆様のご支援に感謝し、これからも健康に留意し、続けていきたいらと念じるばかりでございます。



今年度も多くのご支援・ご協力ありがとうございました



◎編集後記◎

長い歴史を持つ様々なボランティア団体。市内にも多くありますが、皆さんの熱心な活動の継続が、次世代への継承にもつながっているのだと感じます。何事も努力を惜しまずコツコツと続けることが大切なのですね。「継続は力なり」という言葉を胸に、来年度も頑張ります！（Ｙ）

<発行> 滝川市ボランティア連絡協議会広報部会

部会長：岸部三和子 部会員：前田ひとみ、安居弘美、野村幸子、花田瑞子、田村應佳

滝川市明神町1丁目3番1号 NTT 東日本滝川ビル1F TEL0125-24-8640

<印刷> 有限会社 田中タイプ印刷